

大山駅駅前広場などのデザイン検討ワークショップ 第1回ワークショップを開催しました！

現在、大山駅では東武東上線の連続立体交差事業と合わせて大山駅駅前広場整備事業が進行中です。まち全体が変わりつつある大山で、大山の地域らしい大山駅駅前広場+鉄道付属街路第6号の空間デザイン案を地域のみなさまとの議論を重ね決めていくワークショップを計3回開催します。ワークショップでは応募いただいた大山駅周辺の町会の方やまちづくりに関心のある方など、合計23名が参加され、「大山駅駅前広場+鉄道付属街路第6号の空間についてやってみたい、見てみたいシーンなどを考えてみる！」をテーマにグループに分かれて「今昔ガリバーマップ」「テーブルトーク」を実施しました！

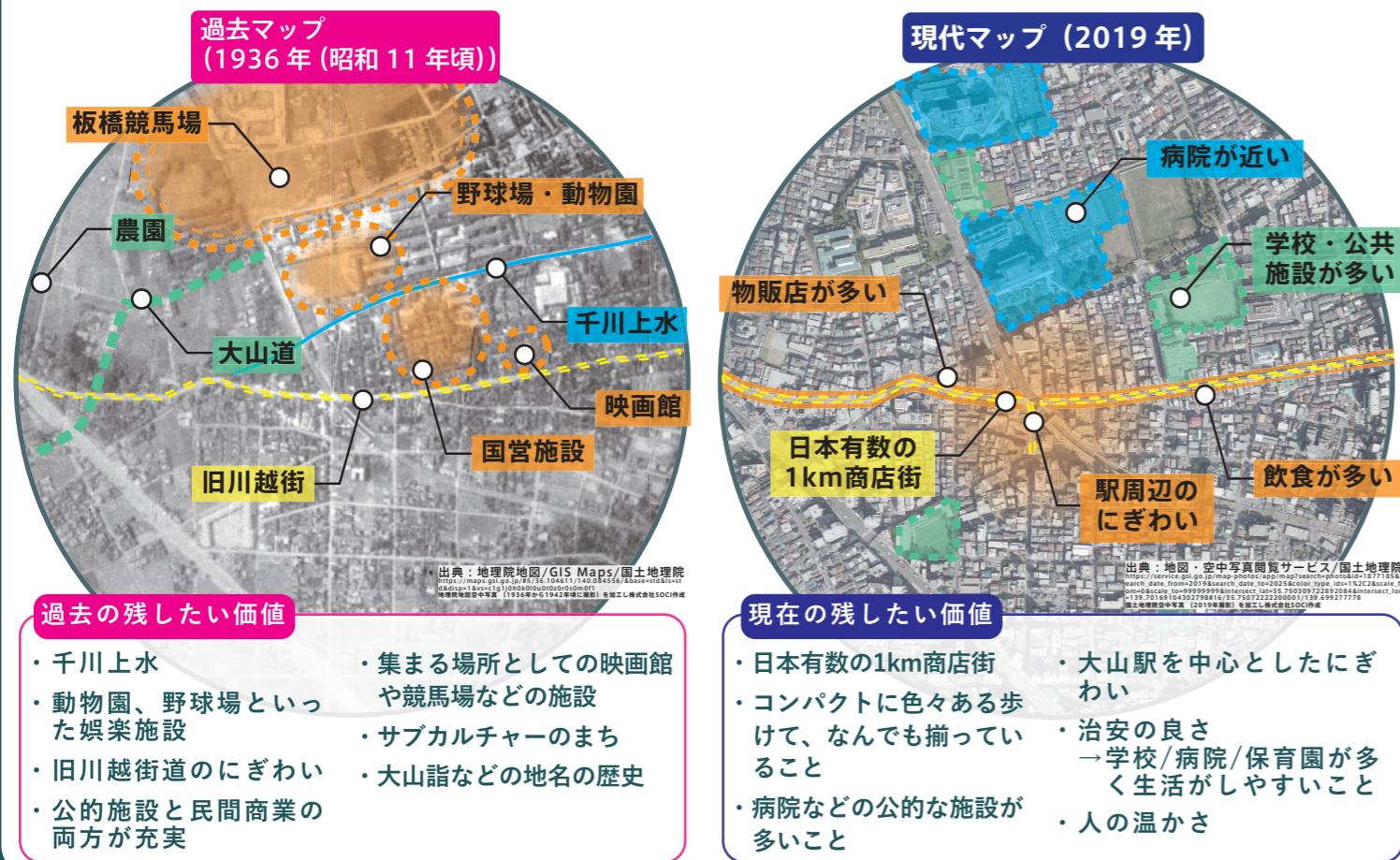


ワークショップ当日は様々な世代・所属の方々が参加され、多様な意見が挙がりました。

① 今昔ガリバーマップ：これまでを振り返る

今昔ガリバーマップとは？

- 大きな地図を床一面に広げ、その上を歩きながらまちの情報を書き込こんだ付箋を貼っていきます。
- 今回は大山駅周辺の現代と過去の航空写真を見ながら、大山のまちの魅力や残していく価値などを考えました。



10/4(土)

14:00~16:00
@板橋区役所2階
人材育成センター

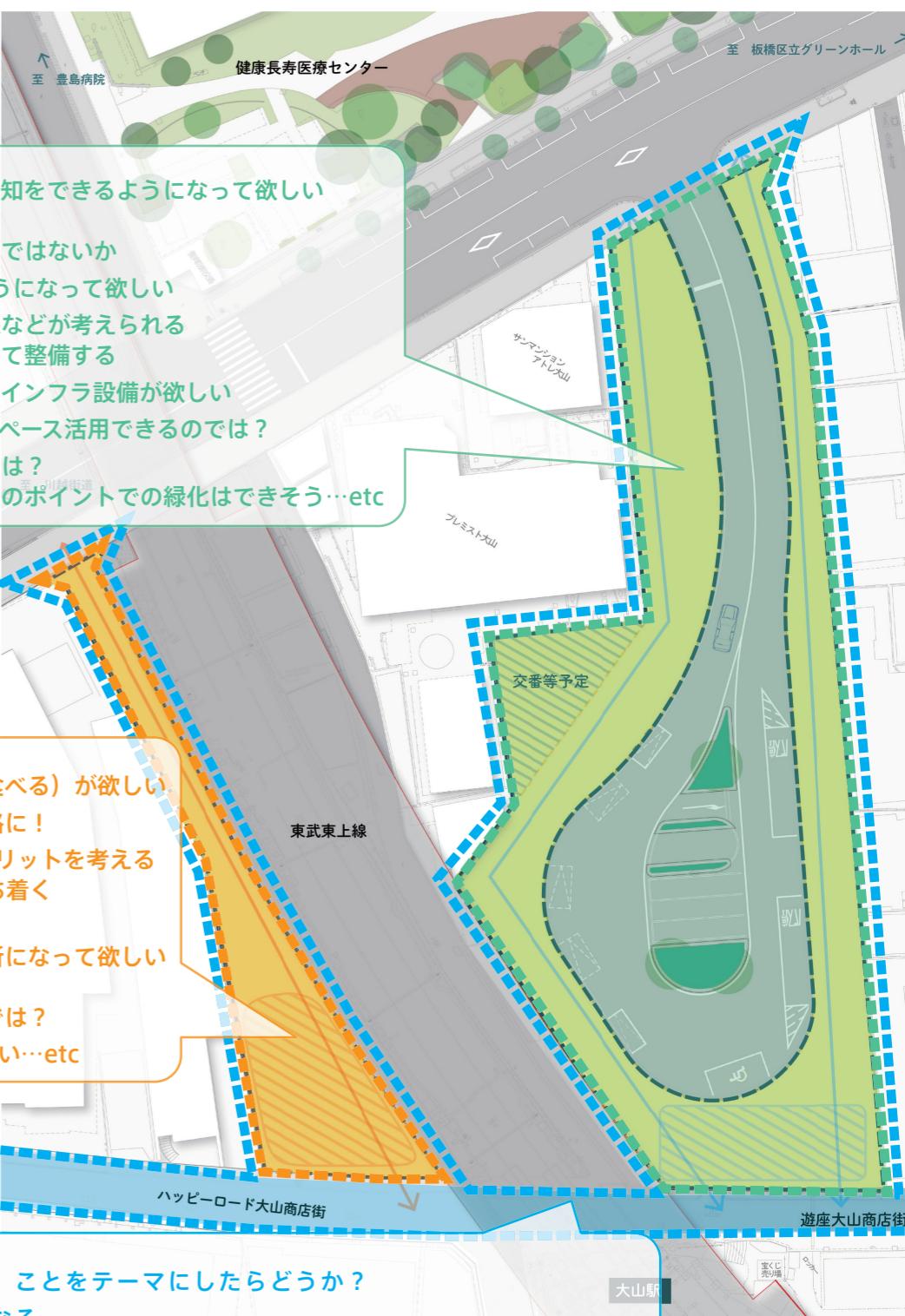
■お問合せ先
板橋区役所 まちづくり推進室
鉄道立体化推進課 大山駅前広場整備係
TEL: 03-3579-2587
FAX: 03-3579-5437
MAIL: railway@city.itabashi.tokyo.jp

大山らしい未来の「ひろば」を考える / ニュースレター
NEWS LETTER 01

② テーブルトーク：これからを考える

テーブルトークとは？

- 4つの班に分かれて、今昔ガリバーマップで出た内容や図面・模型、参考事例写真を見ながら駅前広場で見たい・やってみたいシーンについて話し合い、理想的な使い方などを考えました。



広場全体+前面区道

- 大山らしい使い方→「集う」ことをテーマにしたらどうか？
- 六小から向かう踏切がなくなる →子供のみならず親世代も恩恵を受けるのでは？
- 駅前広場/鉄付6号/二つの商店街を含めて一体化して考えたい
- せっかく住民から用地を提供してもらうなら、住民に還元される空間になって欲しい →維持管理を住民自ら行う空間へ…etc